

MS343-58009/10

GR リヤスカー

取付・取扱要領書

この度はGR リヤスカーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行なってください。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備 考
MS343-58009-A0	プラチナホワイトパールマイカ(089)	ヴェルファイア	
MS343-58009-C0	ブラック(202)		
MS343-58009-C2	ニュートラルブラック(229)		
MS343-58010-NP	未塗装品		

・最新の適合情報はTRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

※本商品を取り付け後、ドレスアップマフラーを装着してください。

■ 構成部品

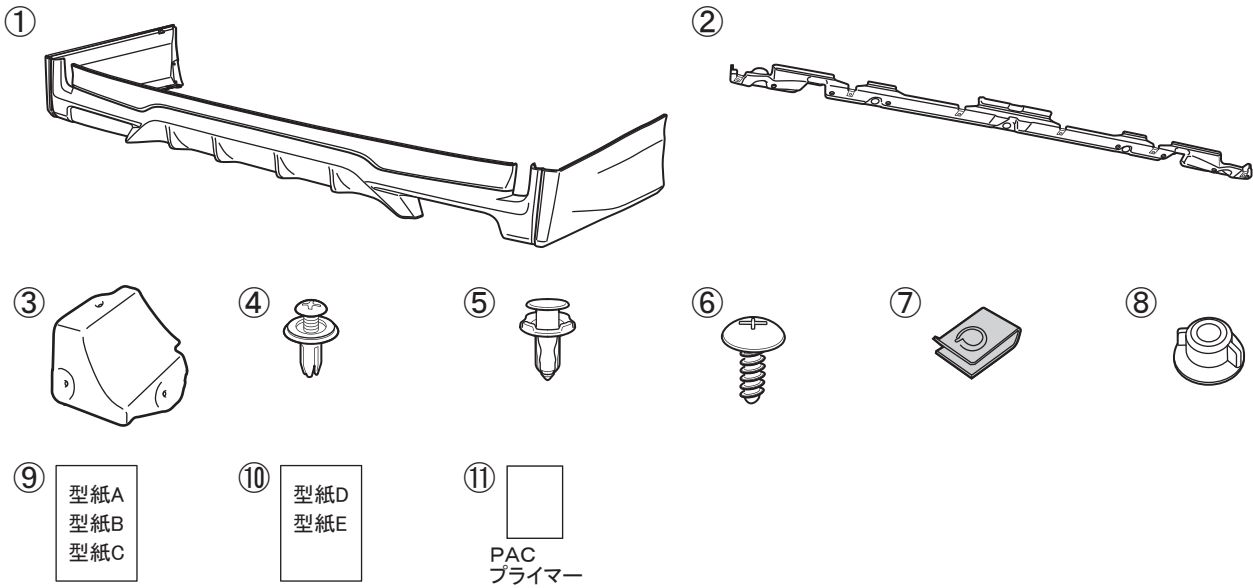
No.	品 名	数量	備考
①	リヤスカート	1	
②	アンダーカバー	1	
③	アンダーカバーASSY	1	
④	スクリベット	5	
⑤	プッシュプルリベット	6	
⑥	タッピングスクリュー	6	4×12
⑦	Uナット	6	
⑧	クリップナット	2	
⑨	型紙(A/B/C)	1	
⑩	型紙(D/E) RH/LH	1	
⑪	PACプライマー(赤袋)	1	N210NT 08867-00250

以下、MS343-58010-NP(未塗装品セット)のみに同梱

No.	品 名	数量	備考
⑫	PACプライマー(青袋)	1	K-500 08867-00230
⑬	イ型モール	各1	ライトグレー/ブラック(各色L3000)
⑭	L型モール	1	L70

※確認・本商品が到着後すぐに、本体に破損がないこと、付属品がそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS343-58010-NP(未塗装品セット)のみに同梱



⑬イ型モール推奨使用色

塗装色(色記号)	モール色
プラチナホワイトパールマイカ (089)	ライトグレー
ブラック (202)	ブラック
ニュートラルブラック (229)	ブラック
プレシャスメタル (1L5)	ブラック

取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行なってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行なうと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行なってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落等により重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ⊘❗ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⊘ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⊘ 両面テープは一度貼り付けてから剥がすと、接着力が低下し再貼り付けはできません。
- ⊘ 外気温が15℃未満の場合は、両面テープの接着力が著しく低下します。部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。圧着が不足した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図	1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）	3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図	4
4. 取付準備、取付要領	5～17
5. 取付完了後の点検・注意事項	17
6. 未塗装品の取り扱いについて	18～19
7. 補修キット両面テープ貼り付け	20

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具
- ・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・ニッパー・エアソー
- ・電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/9.0mm/10.0mm）
- ・軍手・保護メガネ・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

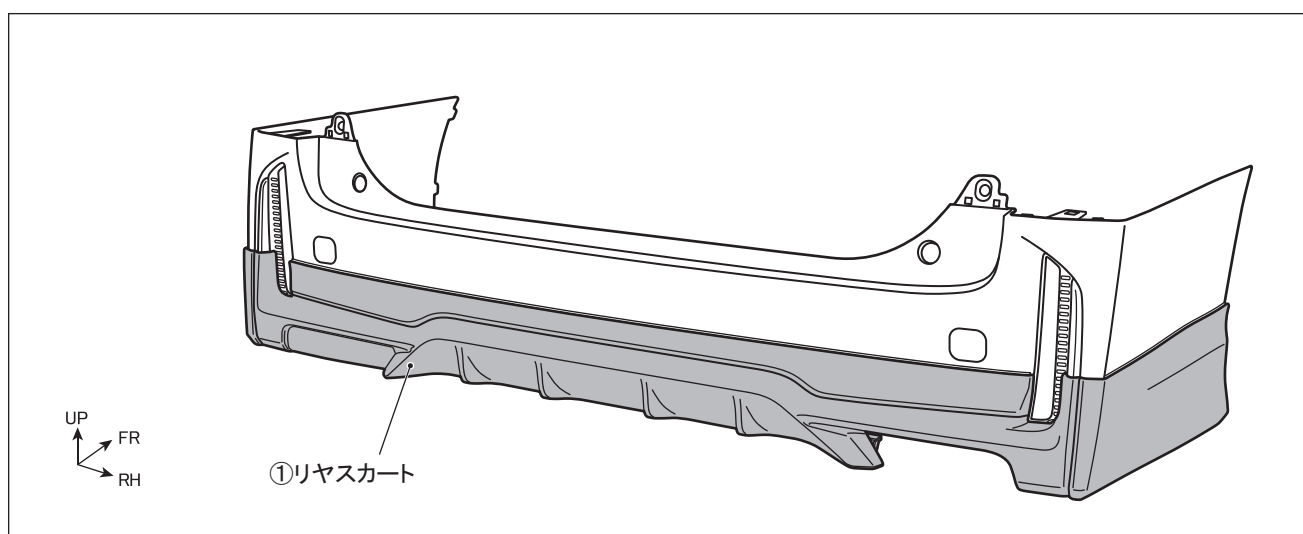
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRD パーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



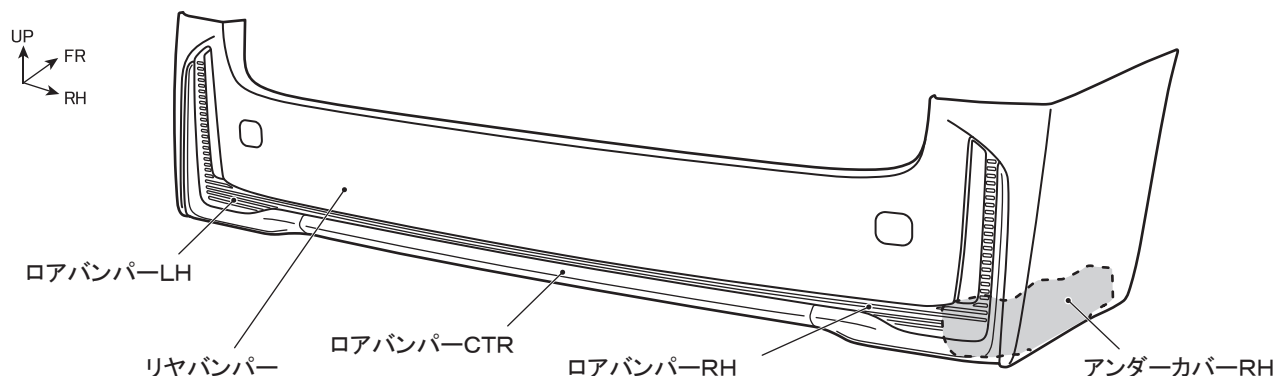
■ 取付準備、取付要領

【車両部品の取り外し作業】

1. 該当車両の修理書に従い、車両からリヤバンパーを取り外し、リヤバンパーからロアバンパー、アンダーカバーRHを取り外す。

⚠注意：取り外した車両部品のうち、リヤバンパー上部の車両スクリューは復元時に再使用します。
また、車両クリップは③アンダーカバーASSYの取り付けのため再使用しますので、失くさないように必ず保管してください。

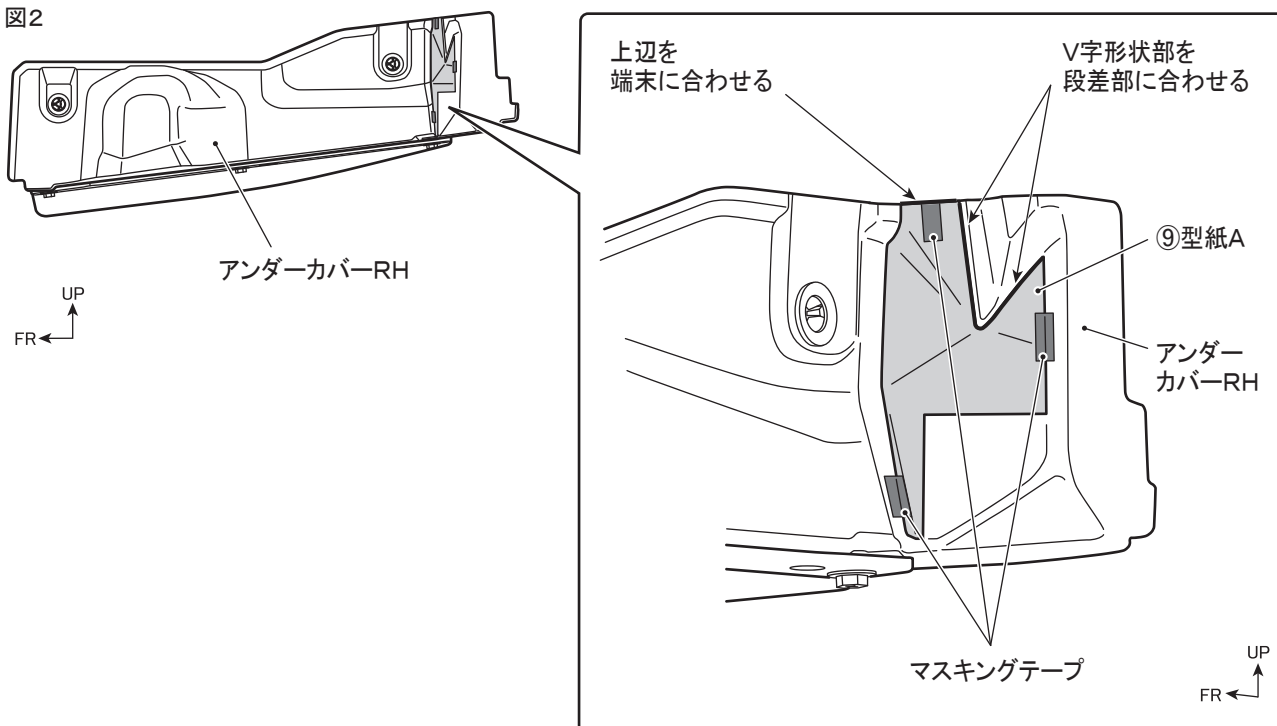
図1



【アンダーカバーRHの切り取り・穴あけ加工】

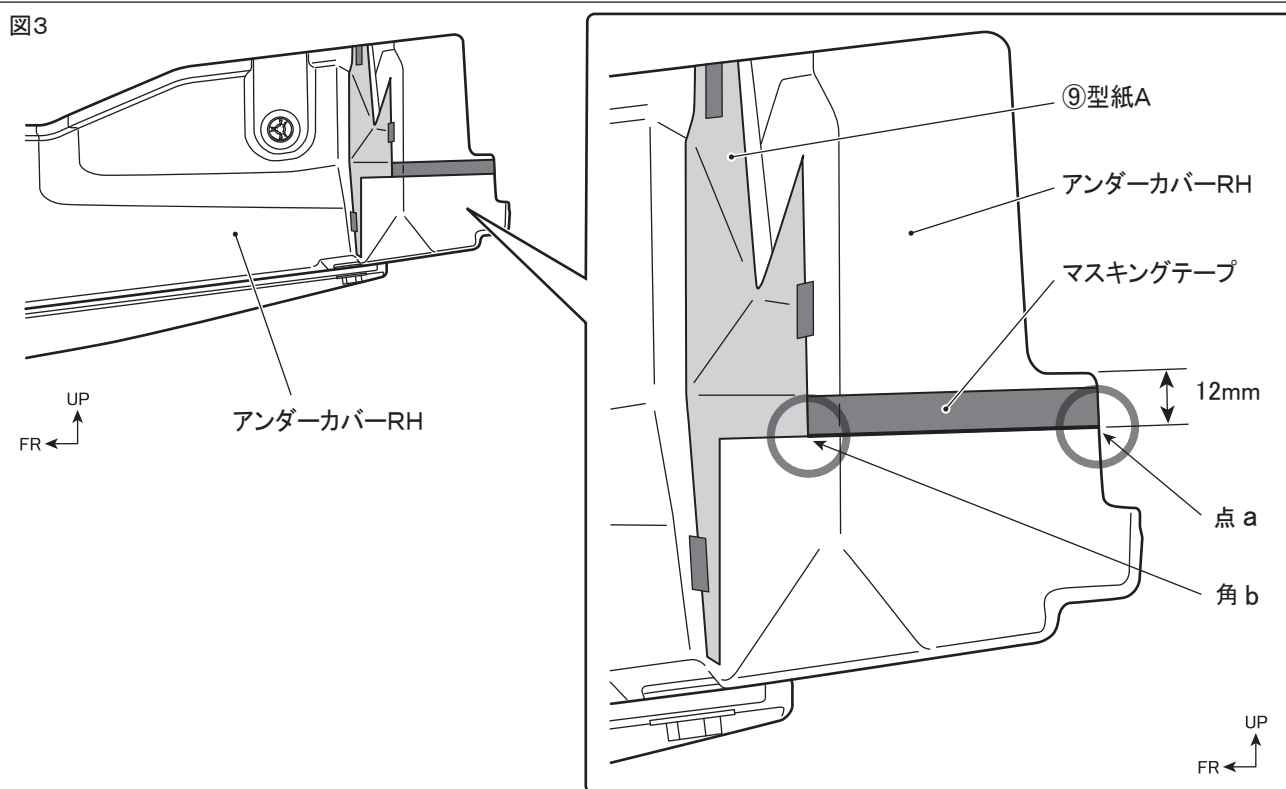
1. 取り外したアンダーカバーRHに、⑨型紙Aをマスキングテープで貼り付ける。
図2のように、⑨型紙Aの上辺は端末に合わせ、V字形状部は段差部に合わせる。

図2



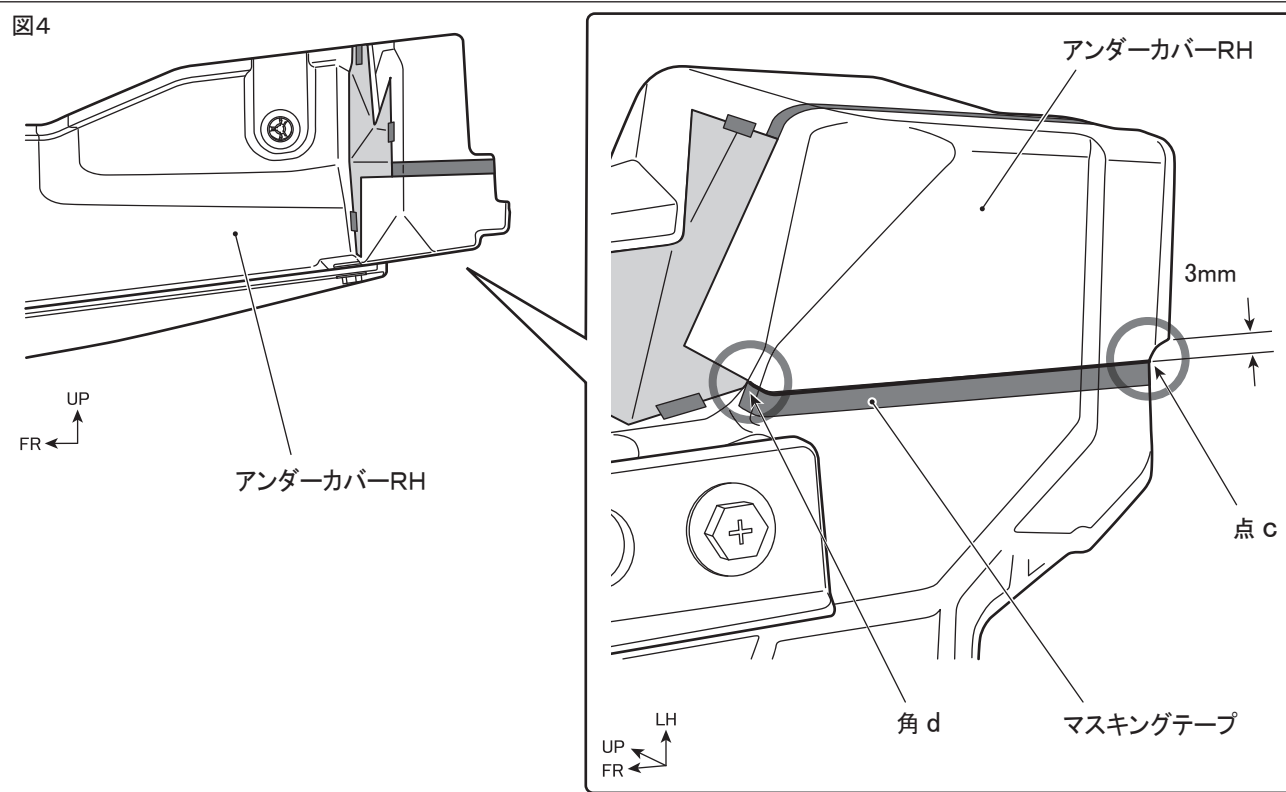
2. アンダーカバーRH側面に、カット加工位置出しのためのマスキングテープを貼り付ける。
 図3のように、アンダーカバーRHの図示の辺から12mmの点aと、⑨型紙Aの角bとを結ぶ線が、マスキングテープの下辺となるように貼り付ける。

図3



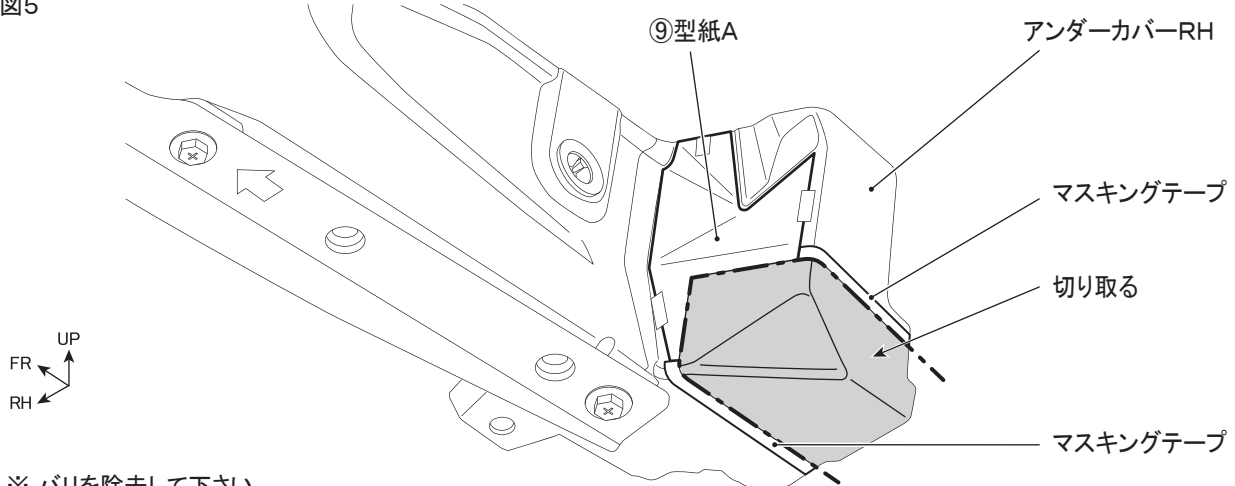
3. アンダーカバーRH下面に、カット加工位置出しのためのマスキングテープを貼り付ける。
 図4のように、アンダーカバーRHの図示の角から3mmの点cと、⑨型紙Aの角dとを結ぶ線が、マスキングテープの上辺となるように貼り付ける。

図4



4. アンダーカバー-RHの、⑨型紙Aとマスキングテープの辺で囲まれた部分(図5のグレー色箇所)をカットし、⑨型紙Aとマスキングテープを取り外して、バリを除去する。

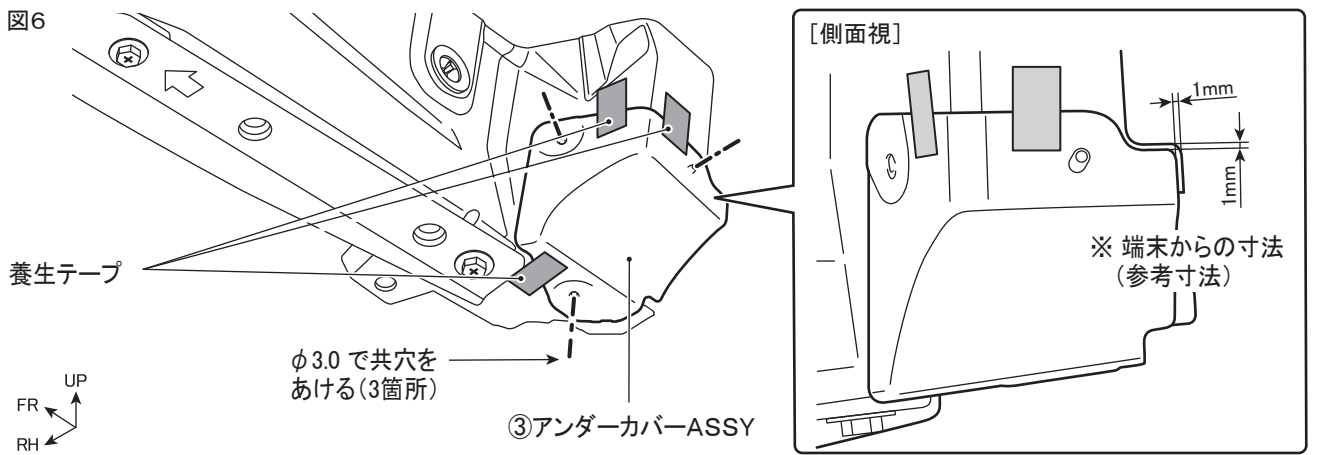
図5



※ バリを除去して下さい。

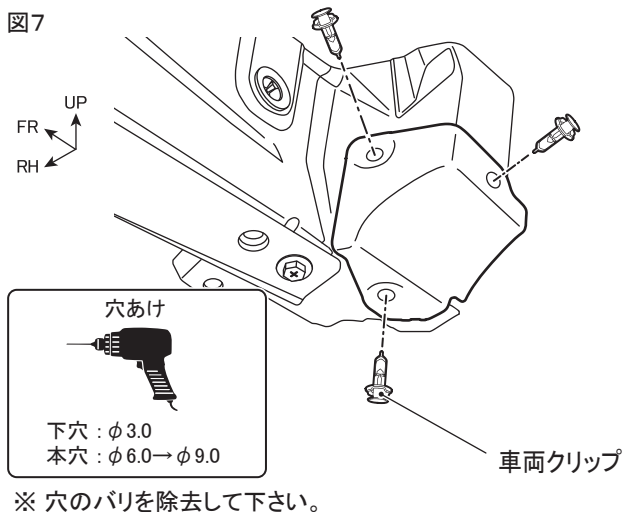
5. 切り取った箇所に③アンダーカバー-ASSYをかぶせ、ガタつきのないように押し付けて養生テープで仮固定し、穴位置に $\phi 3.0$ で共穴をあける。(3箇所)

図6



6. ③アンダーカバー-ASSYを取り外し、③アンダーカバー-ASSYおよび車両アンダーカバーの各下穴($\phi 3.0$)に、 $\phi 6.0 \rightarrow \phi 9.0$ の順で本穴をあける。穴あけ後、バリを除去する。
7. 「車両部品の取り外し作業」の手順1.(p.5)で取り外した車両クリップ(3個)を使い、③アンダーカバー-ASSYを固定する。

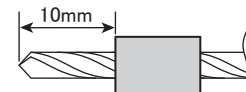
図7



⚠ 注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

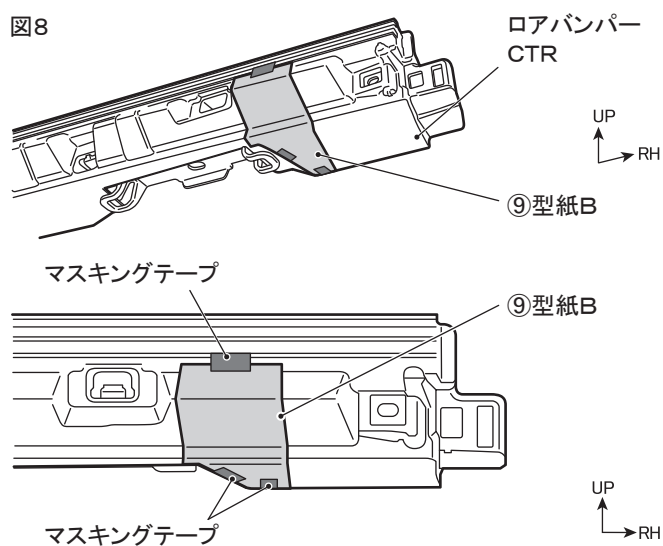
👉 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

👉 アドバイス: 傷つき防止のため、ドリル先端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。



【リヤバンパーのカット加工】

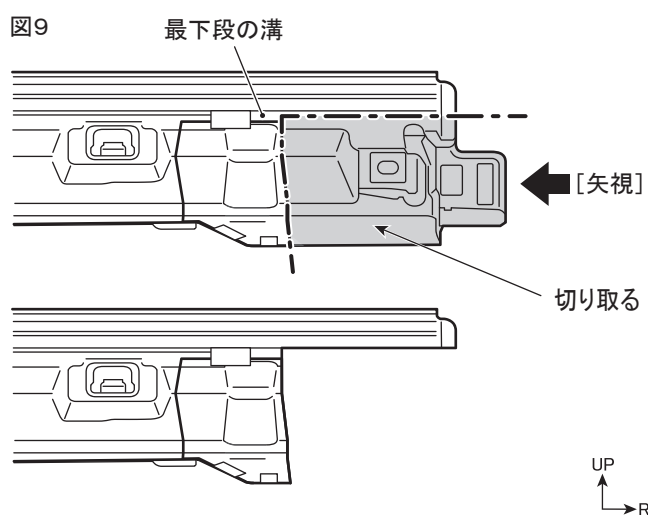
図8



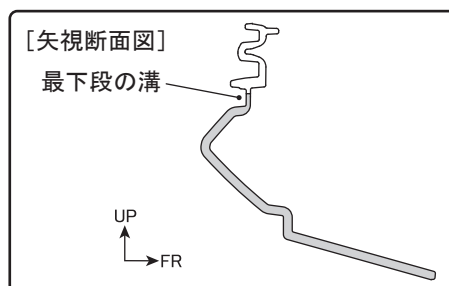
1. ⑨型紙Bを切り抜き、ロアバンパーCTRのメッキパーツを取り外し、底面の形状に合わせてマスキングテープで貼り付ける。

※ 作業するのは部品右端部のみです。

図9



2. ⑨型紙Bの右辺および最下段の溝底の線で囲まれた範囲(図9のグレー色箇所)をカットする。

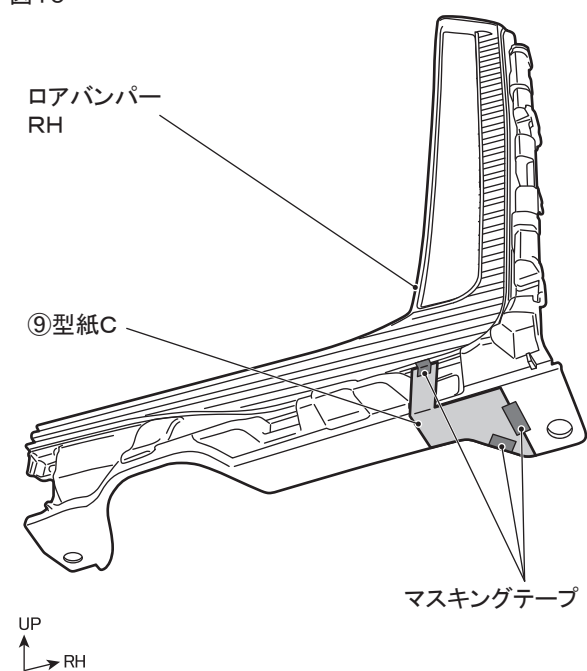


3. ⑨型紙Bを取り外して、バリを除去する。

※ 作業するのは部品右端部のみです。

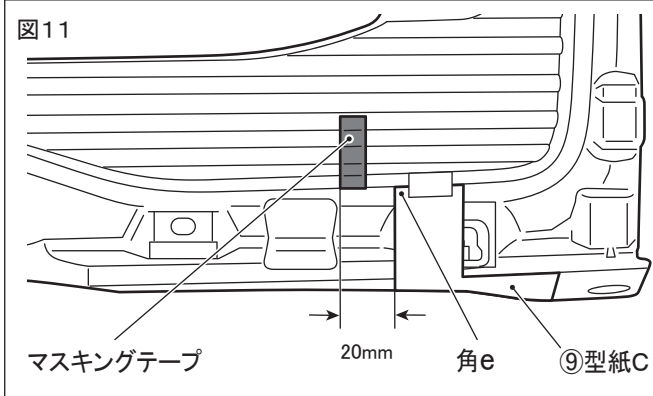
※ メッキパーツは復元しません。

図10



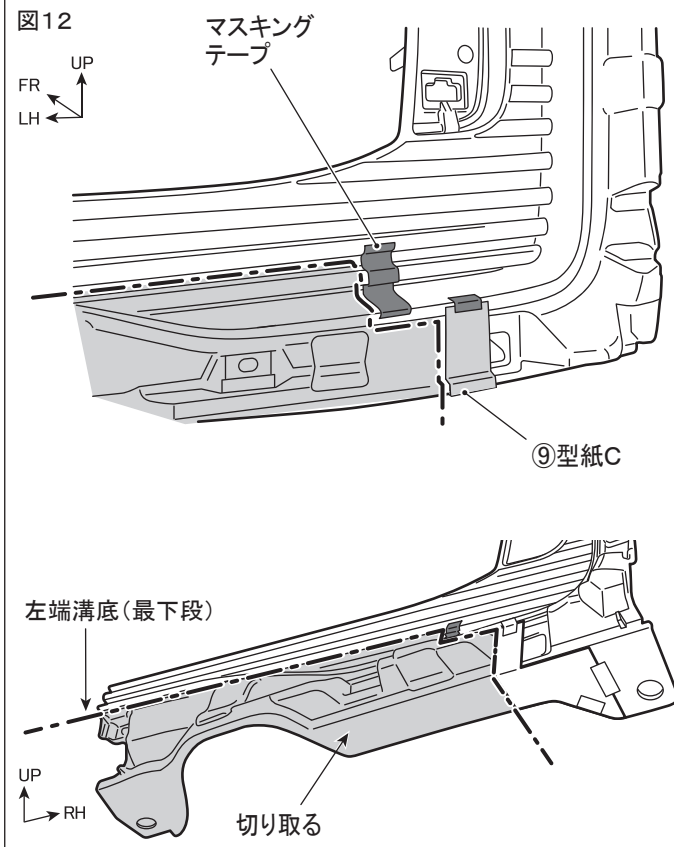
4. ⑨型紙Cを切り抜き、ロアバンパーRHのメッキパーツを取り外し、底面の形状に合わせてマスキングテープで貼り付ける。

図11

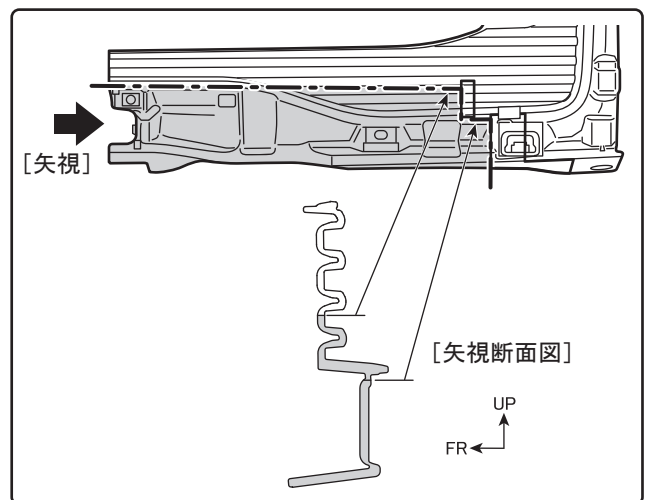


5. ⑨型紙Cの左辺、角eから20mmの位置から垂直にマス킹テープを貼り付ける。

図12

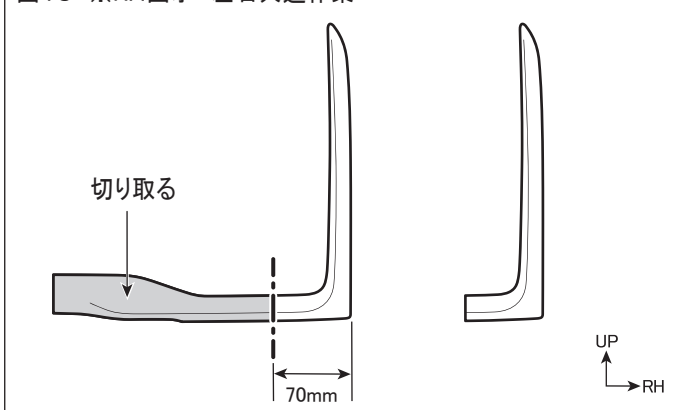


6. マス킹テープ左辺、ロアバンパーRH左端溝底(最下段)からの水平線と囲まれた範囲(図12のグレー色箇所)をカットする。



7. ⑨型紙Cとマス킹テープを取り外して、バリを除去する。

図13 ※RH図示 左右共通作業



8. ロアバンパーRH/LHから取り外したメッキパーツを、左右端末から70mmの位置にマス킹テープでマーキングし、垂直にカットする。
(図13のグレー色箇所)
バリを除去した後、ロアバンパーRH/LHに復元する。

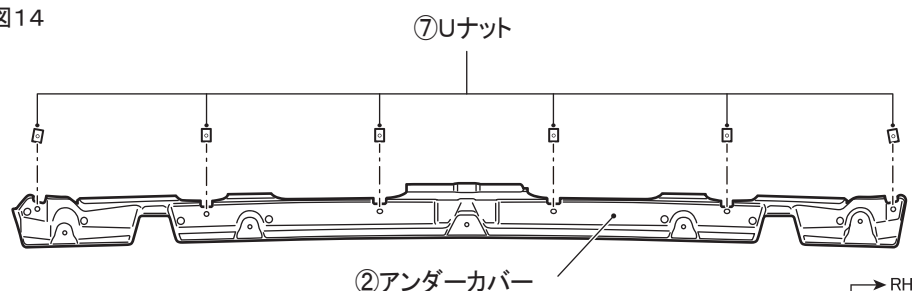
⚠ 注意: メッキパーツをカットした際、カット部周囲のバリが鋭利な状態になっている場合があります。
作業中のケガに注意してください。

9. リヤバンパーに、ロアバンパーCTR/RH/LHを復元する。
※ 復元する際に、メッキパーツとバンパーの隙が一定になる様に取り付けてください。

【アンダーカバーの穴あけ加工】

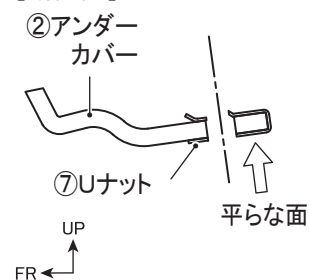
- ②アンダーカバーに⑦Uナットを取り付ける。(6箇所)

図14



※ ⑦Uナットは、平らな面が下向き(表側)になるよう注意して取り付けてください。

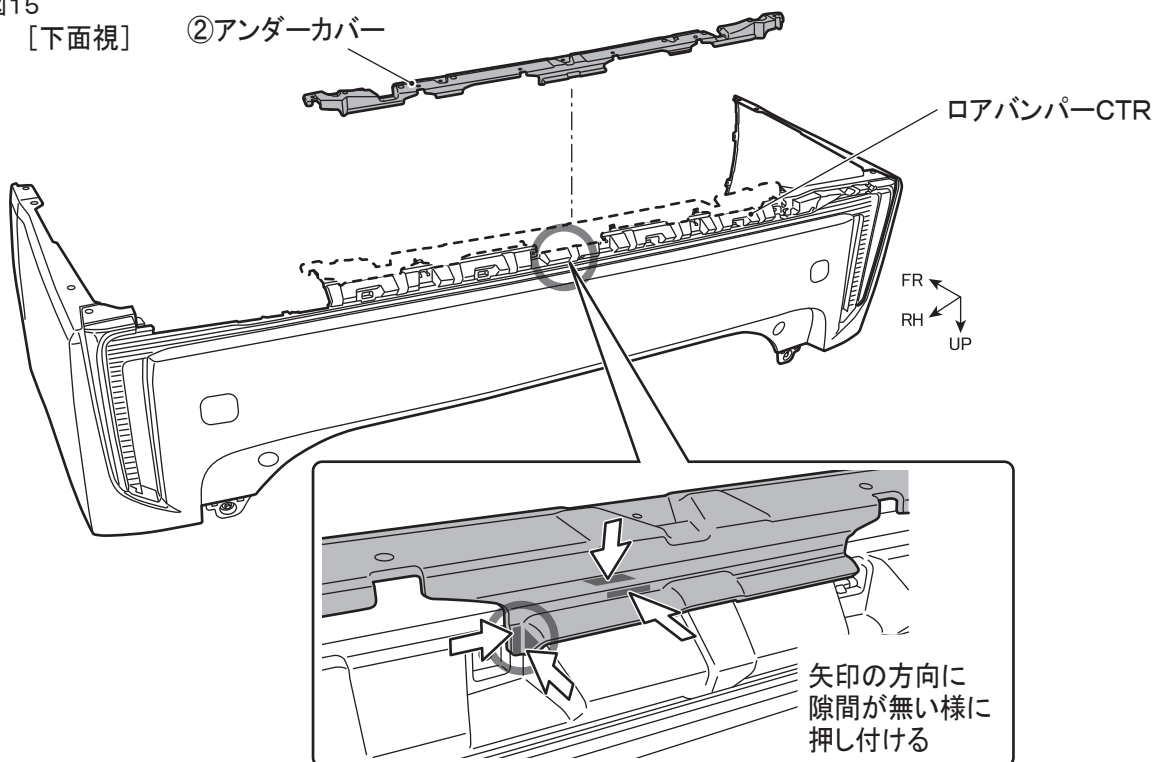
[断面図]



- ロアバンパー-CTRに、②アンダーカバーを図15のように位置を合わせる。
合わせた位置がズレ無い様にしながら、②アンダーカバー中央から外側に向かって、②アンダーカバーと共に $\phi 3.0$ で下穴をあけ、 $\phi 6.0$ の本穴をあける。(5箇所)

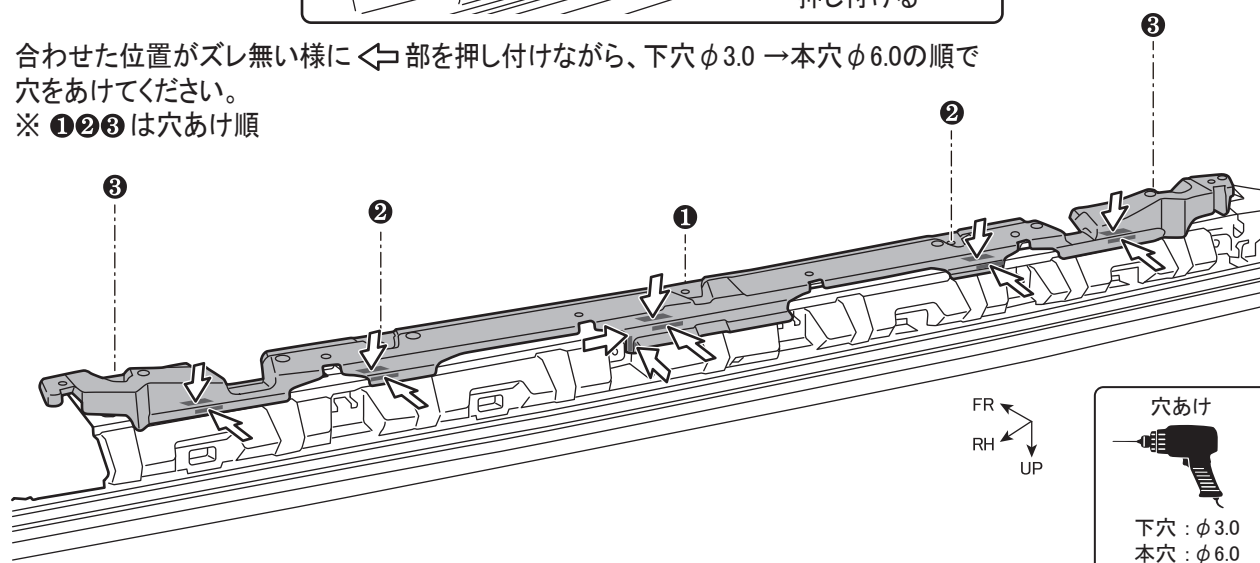
図15

[下面視]

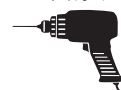


合わせた位置がズレ無い様に $\hookleftarrow$ 部を押し付けながら、下穴 $\phi 3.0$ → 本穴 $\phi 6.0$ の順で穴をあけてください。

※ ①②③ は穴あけ順



穴あけ



下穴 : $\phi 3.0$
本穴 : $\phi 6.0$

【リヤバンパーのリヤスカート取り付け用穴あけ加工】

- ①リヤスカート取り付け高さの位置出しのため、リヤバンパーに⑩型紙D、⑩型紙Eをマスキングテープで貼り付ける。
図16のように、⑩型紙Dを車両けん引フックカバー部のリヤバンパーの端末に合わせて貼り付ける。
⑩型紙Eは、凸部をタイヤハウスのライナー爪部(3箇所ある内の真ん中)の外形に合わせて貼り付ける。

図16 ※RH図示 左右共通作業

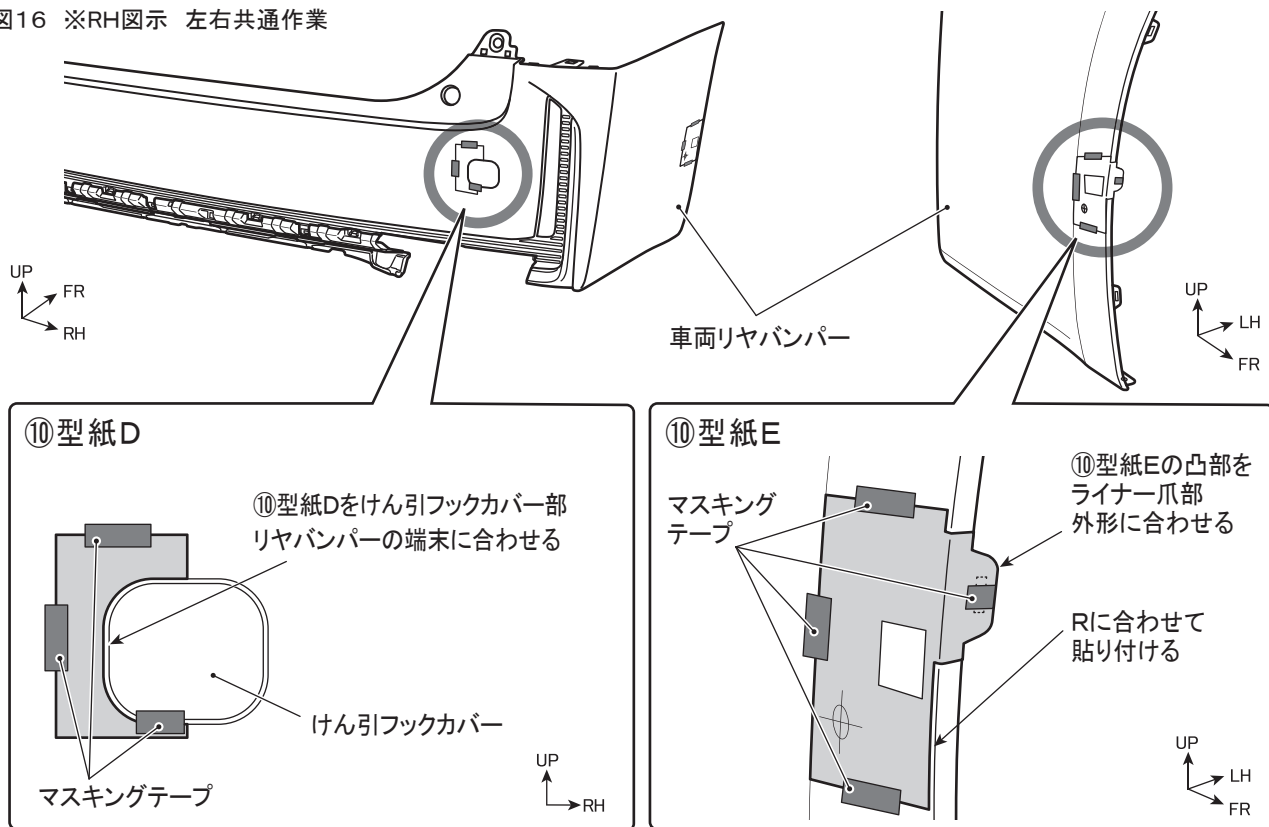
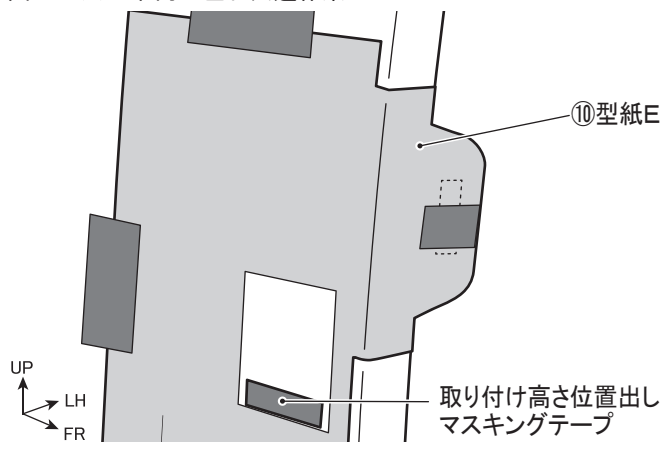


図17 ※RH図示 左右共通作業

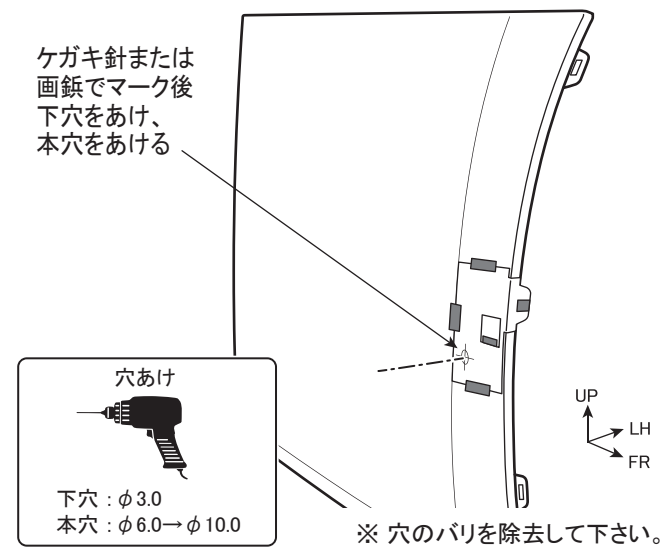


- ②リヤスカート取り付け高さの位置出しのため、⑩型紙Eの切り抜き部の下辺に沿うように、マスキングテープを貼る。(図17参照)

3. ⑩型紙Eの穴位置マークに合わせて、下穴用にマーキング(ケガキ)する。(1箇所)
 続いて⑩型紙Eを取り外し、マーキング位置にφ3.0で下穴をあけ、φ6.0→φ10.0の順で本穴をあける。
 穴あけ後、バリを除去する。

※ 位置出しのマスキングテープを誤って剥がさないよう注意してください。

図18 ※RH図示 左右共通作業

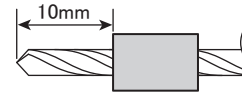


⚠ 注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

👉 アドバイス: 下穴をケガく際は、ケガキ針または画鋸を用いて行なってください。

👉 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

👉 アドバイス: 傷つき防止のため、ドリル先端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。

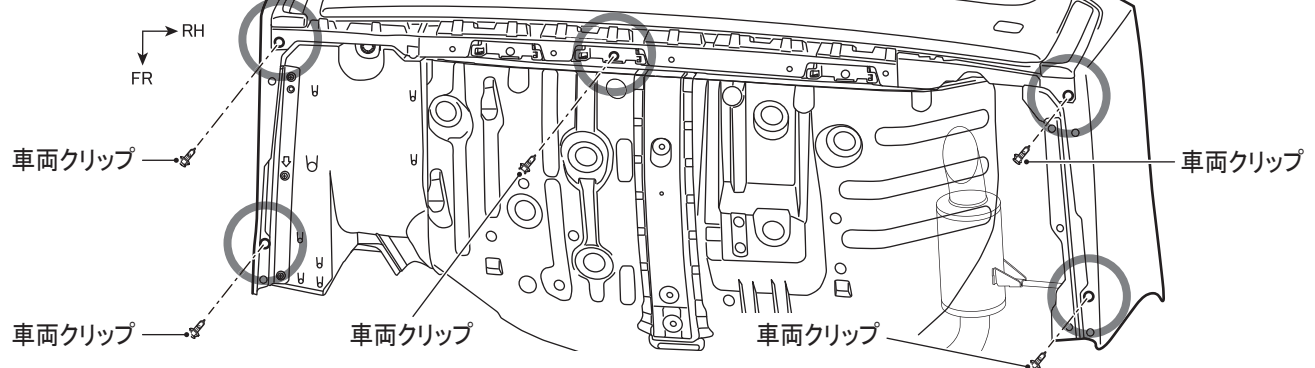


【仮組とプライマー塗布】

1. 該当車両の修理書に従い、リヤバンパーおよびアンダーカバーRHを復元する。(図19の5箇所のみ「車両部品の取り外し作業」の手順1.(p.5)で取り外した車両クリップを取り付ける)

図19

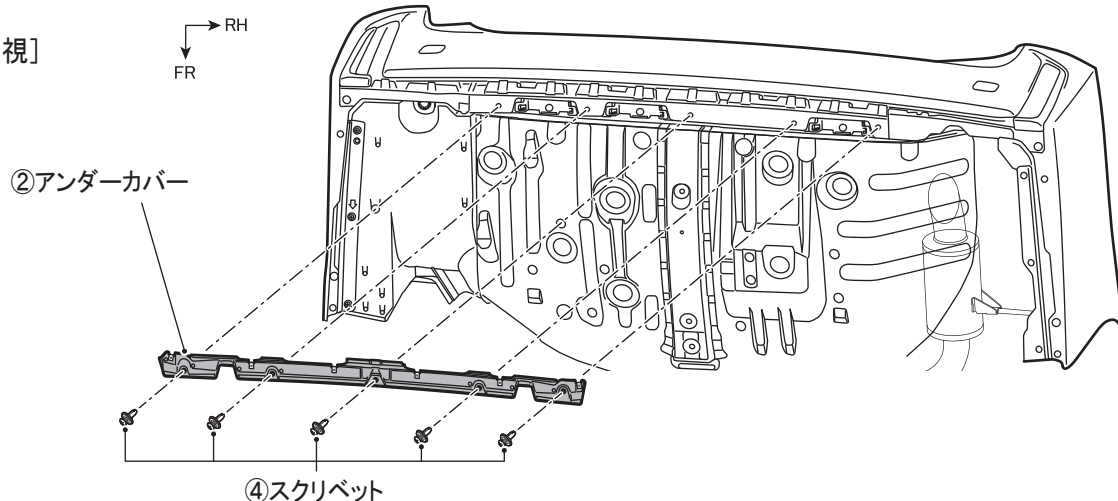
[下面視]



2. ②アンダーカバーを④スクリベットでリヤバンパーに固定する。

図20

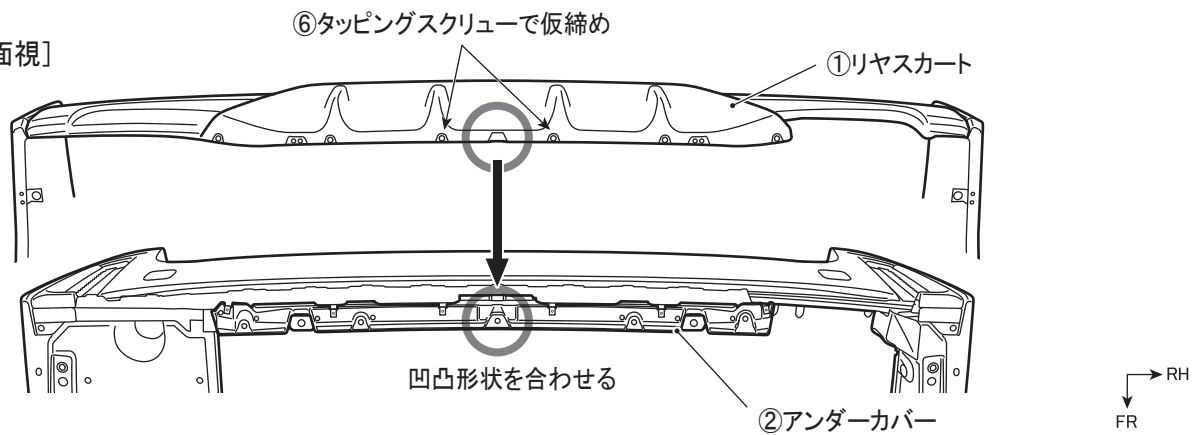
[下面視]



3. ①リヤスカートをバンパーに被せ、左右内側のスクエアヘッドボルトをバンパーのφ10穴に差し込み、上端を養生テープで仮固定し、②アンダーカバー底面中央の凹凸に、①リヤスカート底面中央の凹凸形状を合わせて左右位置を決め、図21の2箇所を⑥タッピングスクリューで仮締めする。

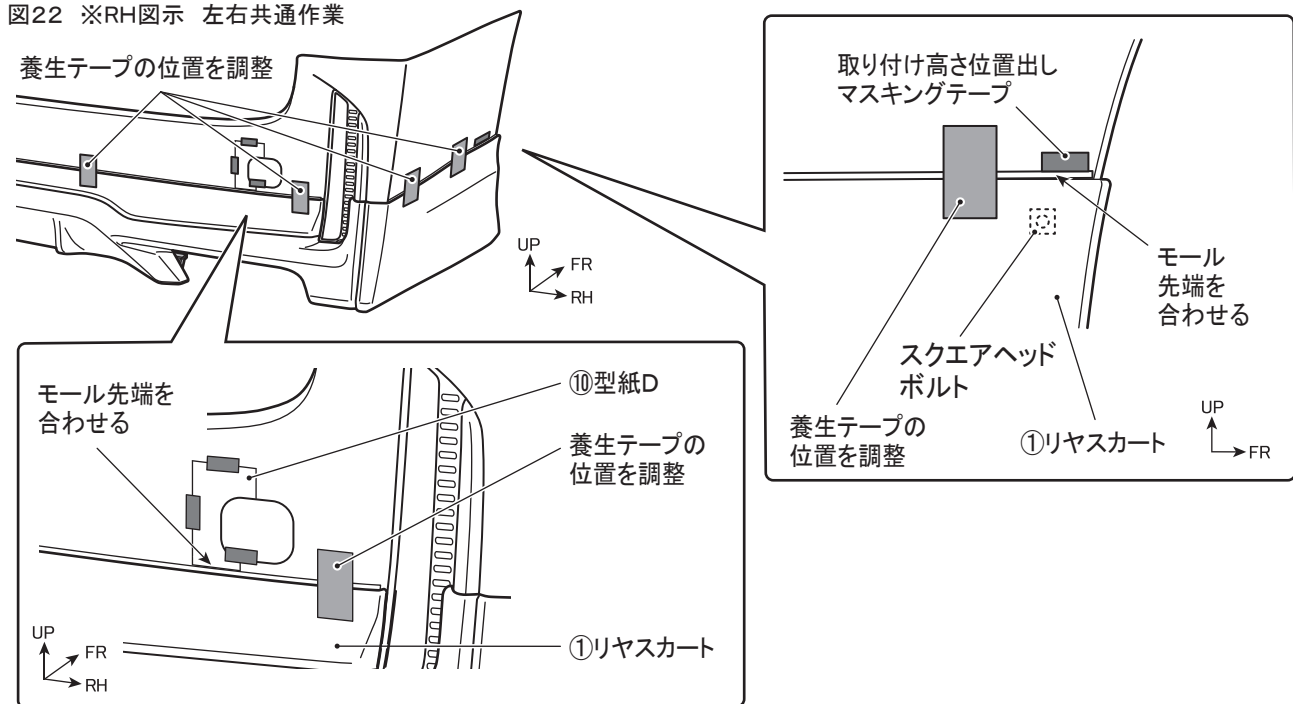
図21

[下面視]



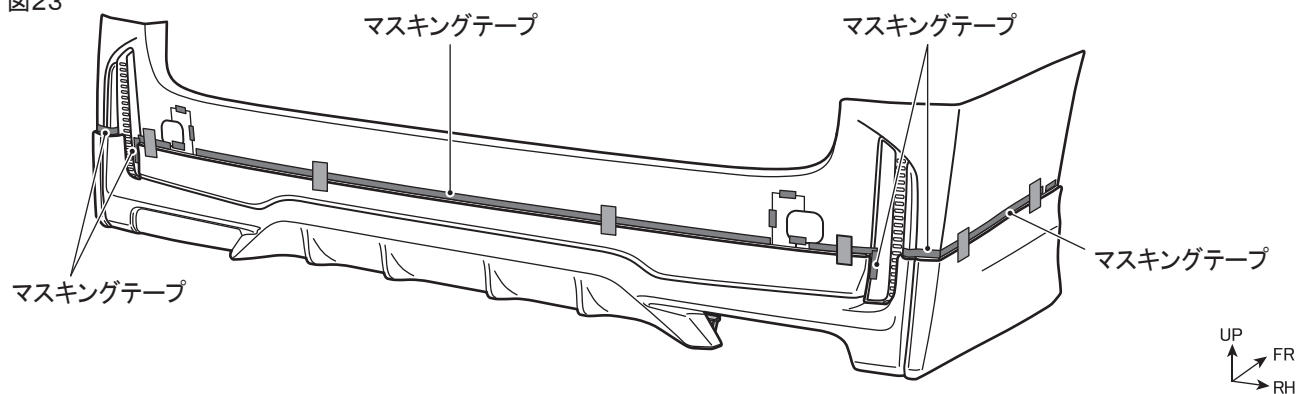
4. ①リヤスカートの上端を⑩型紙Dおよび、取り付け高さ位置出しマスキングテープにモール先端を合わせ、養生テープの仮固定位置を調整する。
※ 左右リフレクター周囲との隙間が均等になるようにする。

図22 ※RH図示 左右共通作業



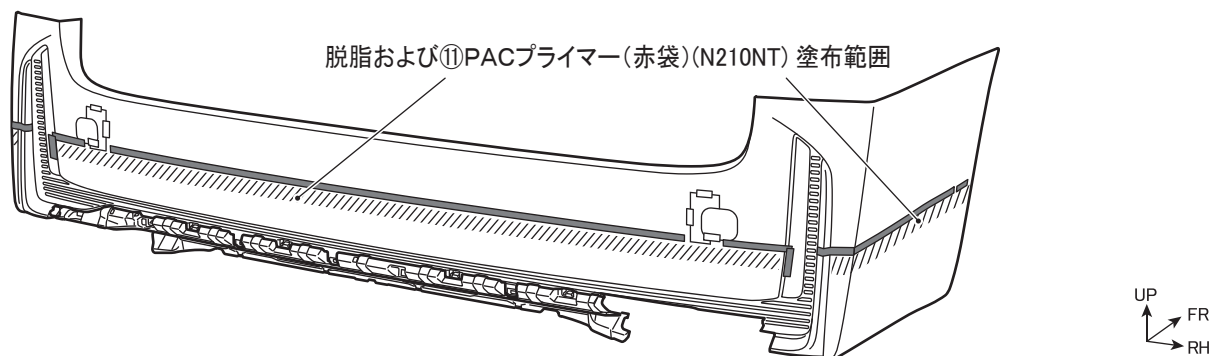
5. ①リヤスカートの上端に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

図23



6. ①リヤスカートを取り外し、図24の斜線部(幅30mm)をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、①PACプライマー(赤袋)(N210NT)を塗布する。

図24



⚠ 注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠ 注意: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

⚠ 注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉 アドバイス: 脱脂後は、十分に乾燥させてください。

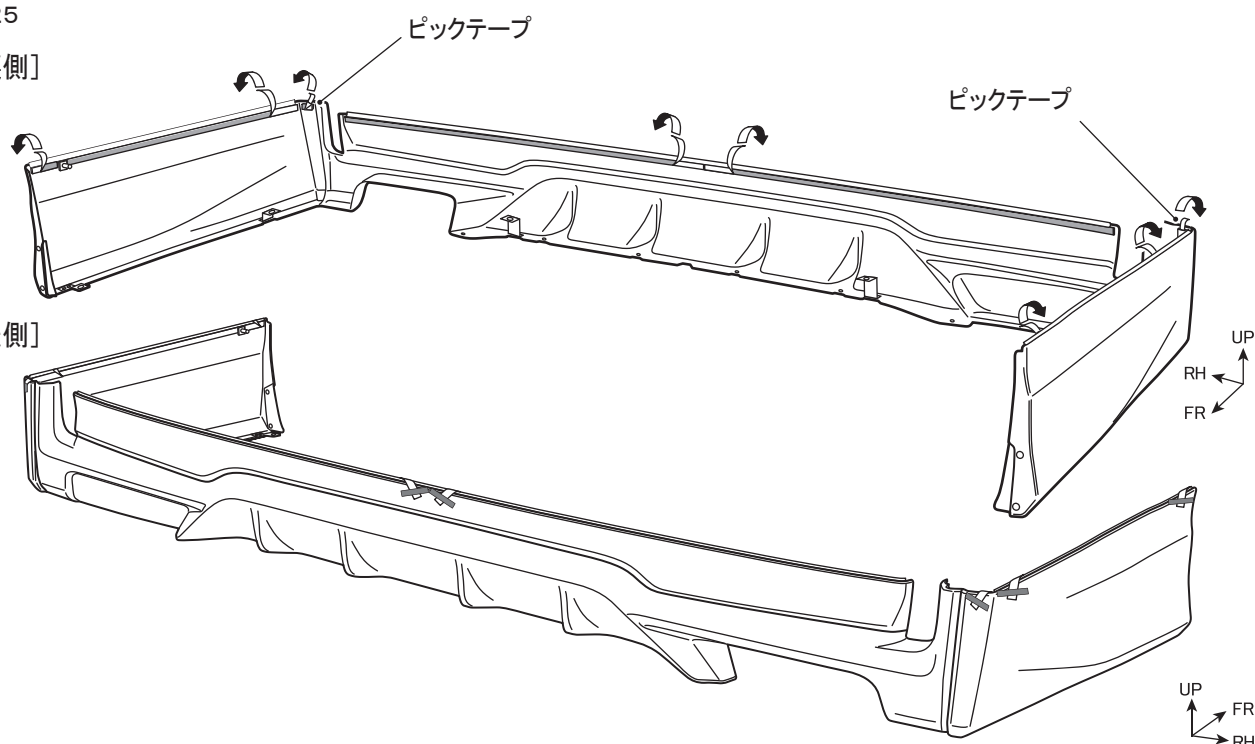
【取付準備】

1. ①リヤスカート裏面の両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。

図25

[裏側]

[表側]

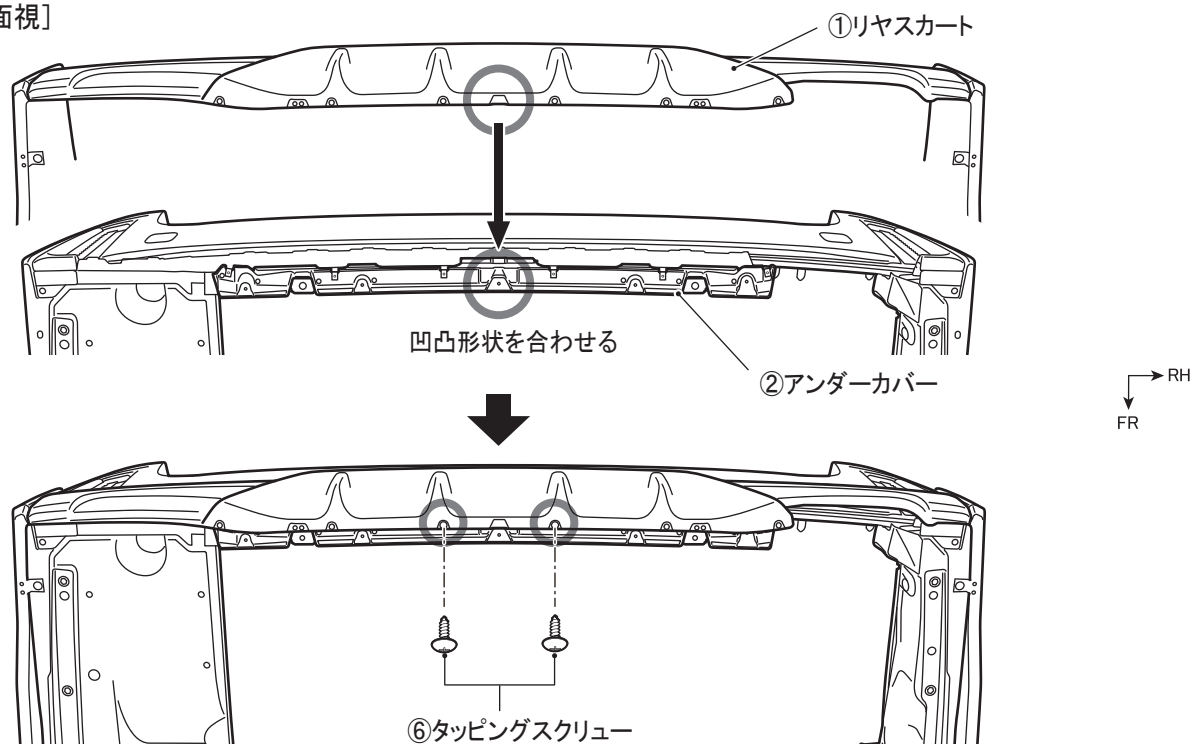


【取り付け】

1. ①リヤスカートをバンパーに被せ、左右内側のスクエアヘッドボルトをバンパーのφ10穴に差し込み、上端を養生テープで仮固定し、②アンダーカバー底面中央の凹凸に、①リヤスカート底面中央の凹凸形状を合わせて左右位置を決め、図26の2箇所を⑥タッピングスクリューで仮締めする。

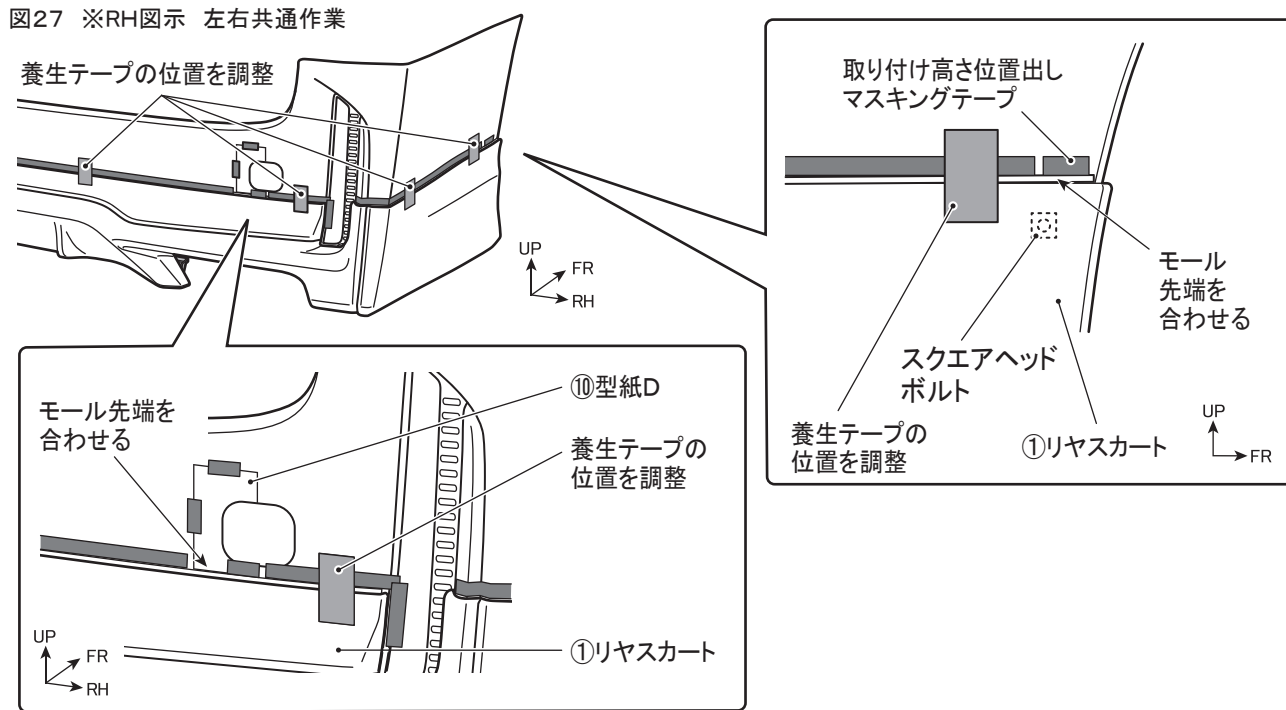
図26

[下面視]



2. ①リヤスカートの上端を⑩型紙Dおよび、取り付け高さ位置出しマスキングテープにモール先端を合わせ、養生テープの仮固定位置を調整する。
※ 左右リフレクター周囲との隙間が均等になるようにする。

図27 ※RH図示 左右共通作業



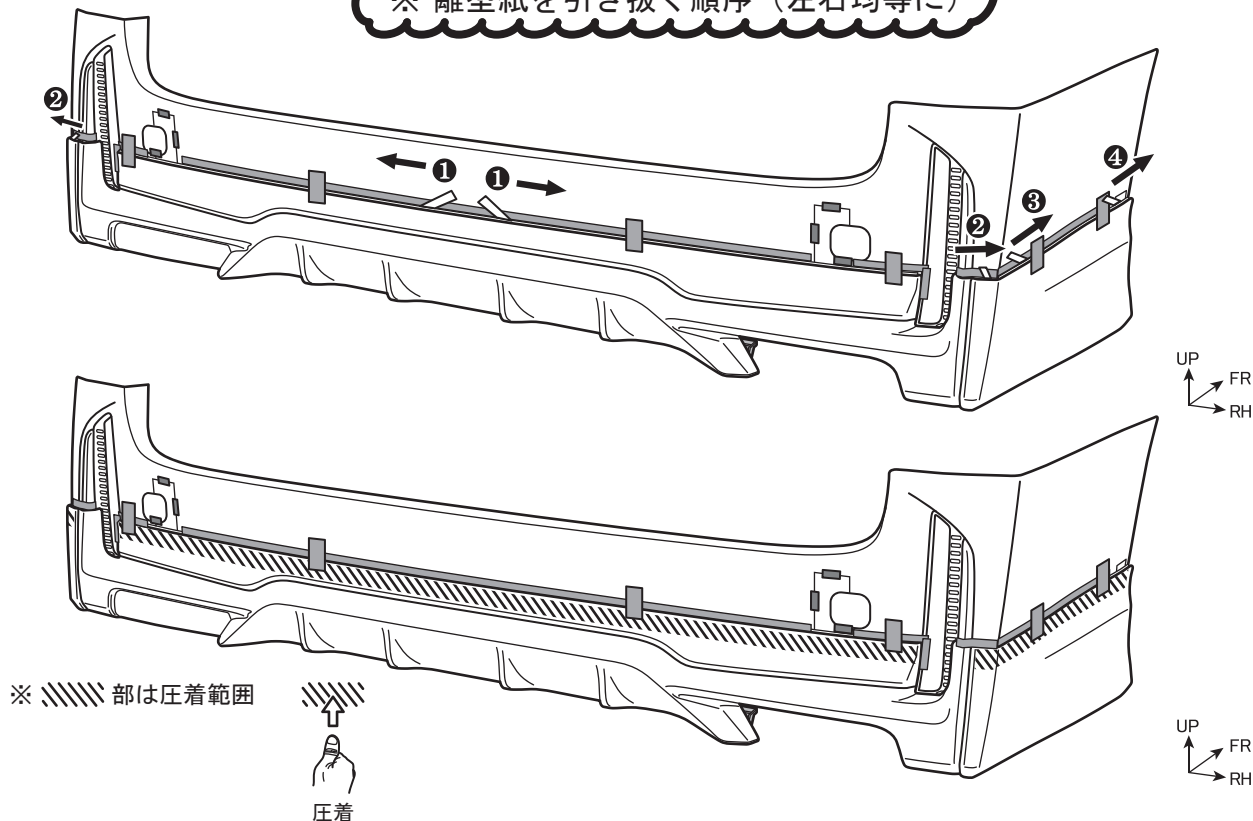
3. 左右のバランスおよび隙、ズレがない事を確認して、図28のように①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、圧着する。

👉 アドバイス:

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かない様に気を付けて作業をしてください。
- 離型紙が途中で切れない様に、①リヤスカートを少し浮かしながら離型紙を引き抜いてください。
- 両面テープの圧着は、49N(5kgf/cm²)程度の力で行なってください。

図28

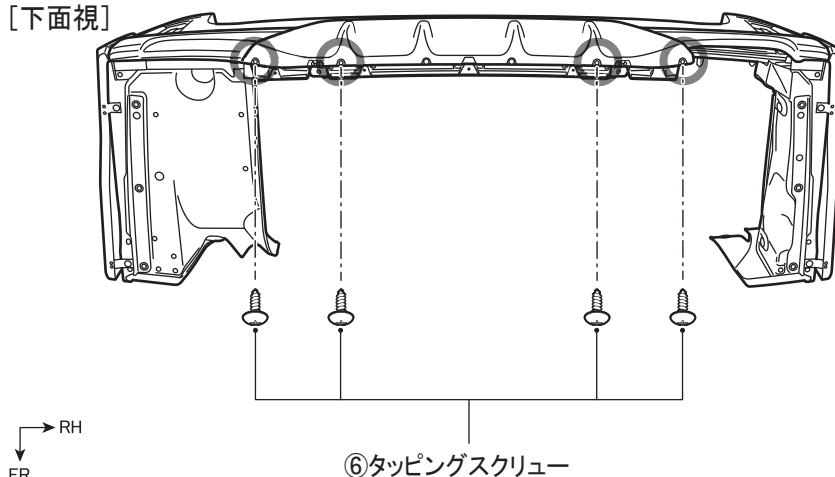
※ 離型紙を引き抜く順序（左右均等に）



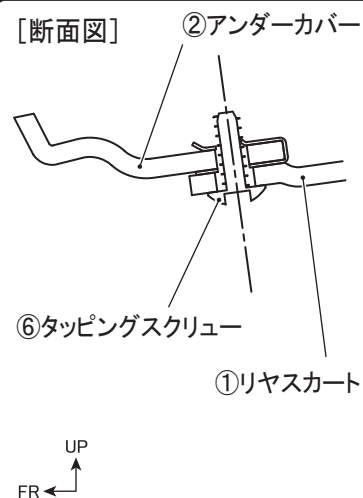
4. ①リヤスカートと②アンダーカバーを、⑥タッピングスクリュー（4箇所）で仮締めする。

図29

[下面視]



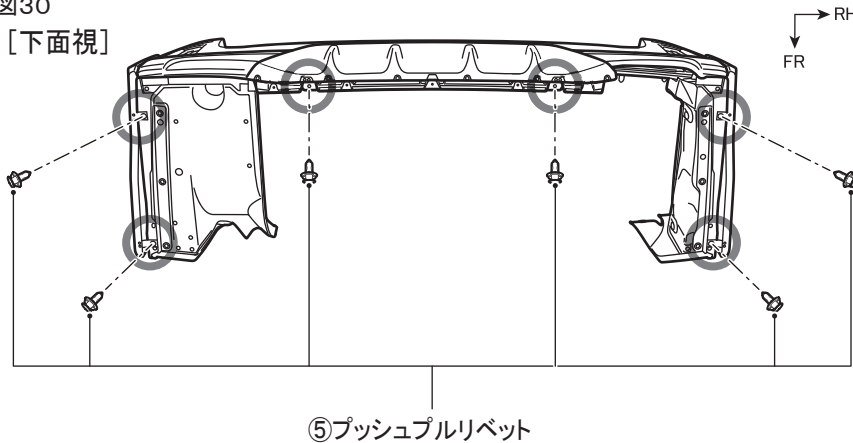
[断面図]



5. ⑤プッシュプルリベットで、背面下面(2箇所)および側面下面(左右各2箇所)を固定する。

図30

[下面視]



[背面下面部断面図]

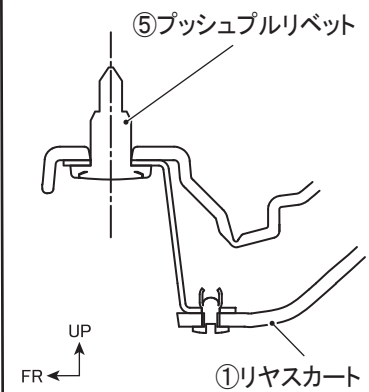
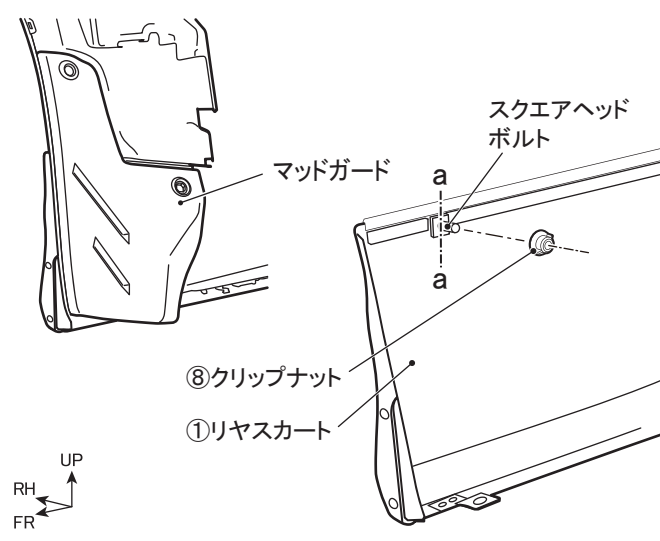
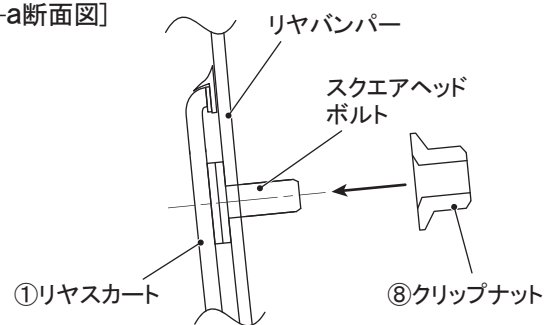


図31 ※RH図示 左右共通作業



6. 該当車両の修理書に従い、マッドガードを取り外す。
 7. リヤバンパー裏側から、①リヤスカートのスクエアヘッドボルトに⑧クリップナットを取り付け、奥まで差し込んで締め込む。
 8. 該当車両の修理書に従い、マッドガードを復元する。

[a-a断面図]



9. ⑩型紙Dおよびマスキングテープを全て剥がす。
 10. 取り付けた両面テープ貼り付け位置を再圧着する。
 11. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。

■ 取付完了後の点検・注意事項

- 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
- 車両及びリヤスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
- 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
 該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
- 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)お取りください。
- 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品 (MS343-58010-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

⚠ 注意: 本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

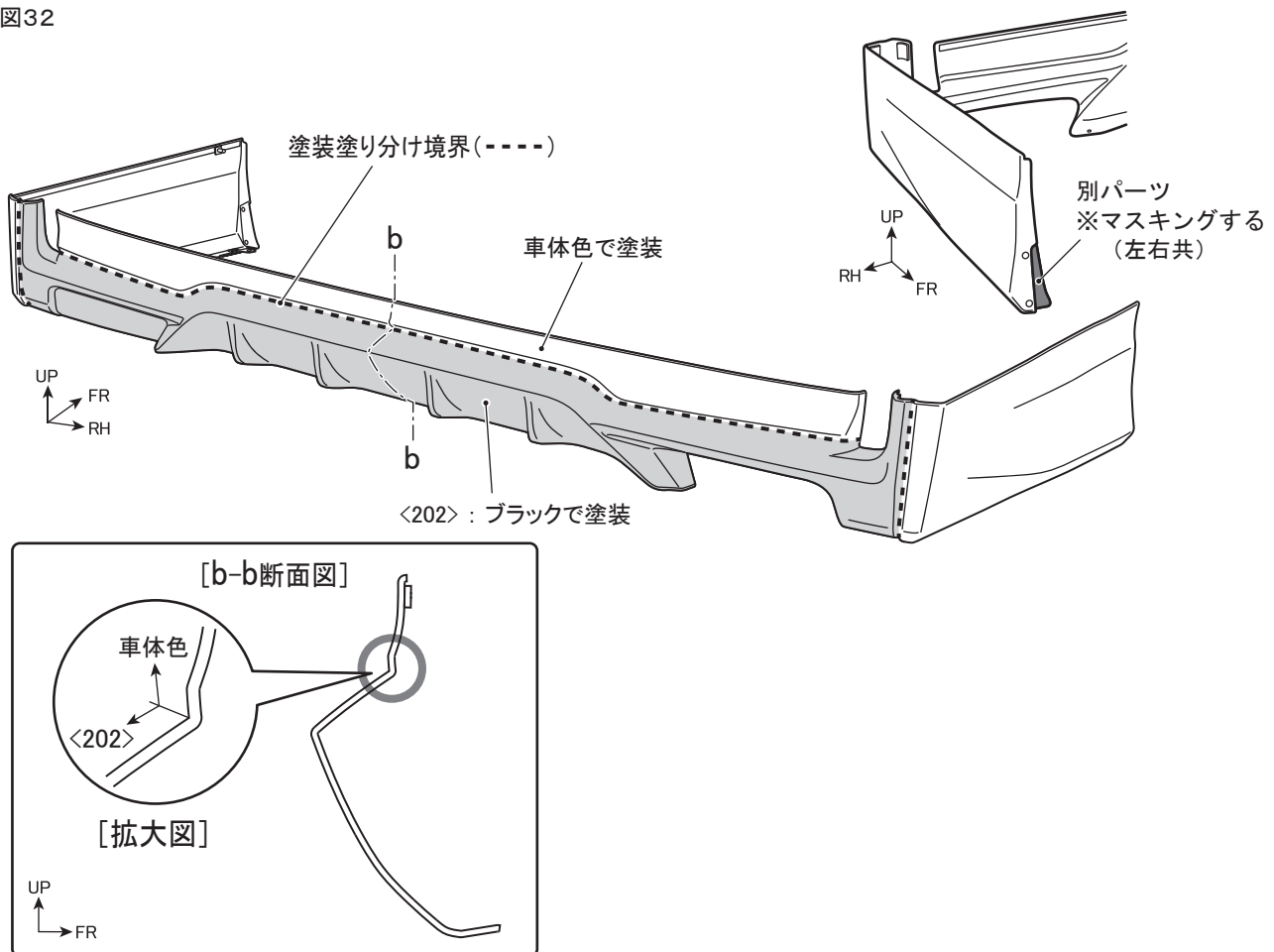
□ リヤスカートの塗装

⚠ 警告: 両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

⚠ 注意: 乾燥温度を 70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープ、フェンダーアーチ部の別パーツをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。
4. 上塗り塗装を行なう。◎注記: 上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥させる。

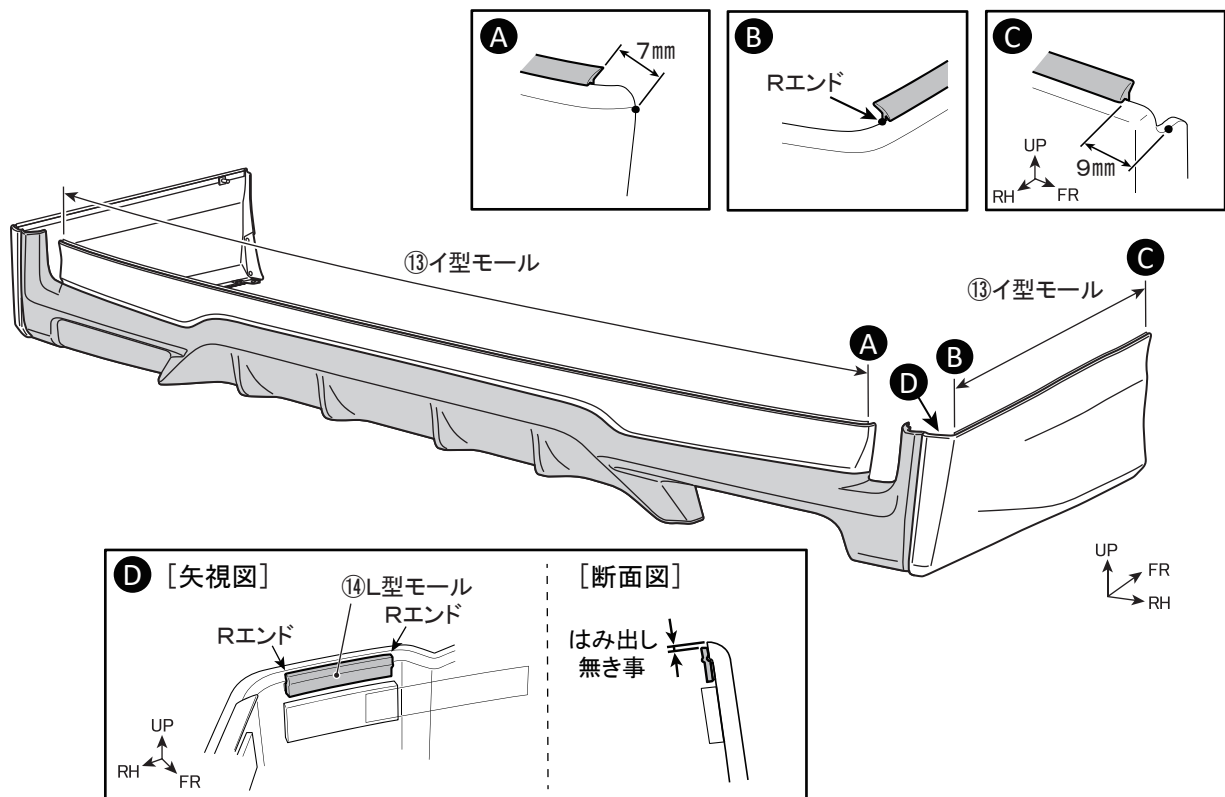
図32



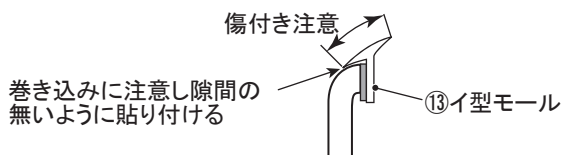
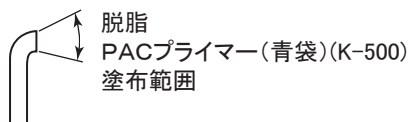
□ モールの貼り付け

- ①リヤスカートのモール貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂しモール貼り付け部のみ⑫PACプライマー(青袋)(K-500)を塗布する。
- 図33の要領でモールの貼り付ける。

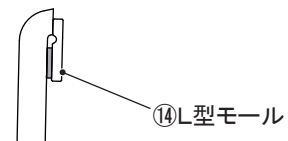
図33 ※RH図示 左右共通作業



【イ型モール断面図】



【L型モール断面図】



⚠ 注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。
油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠ 注意: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

⚠ 注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

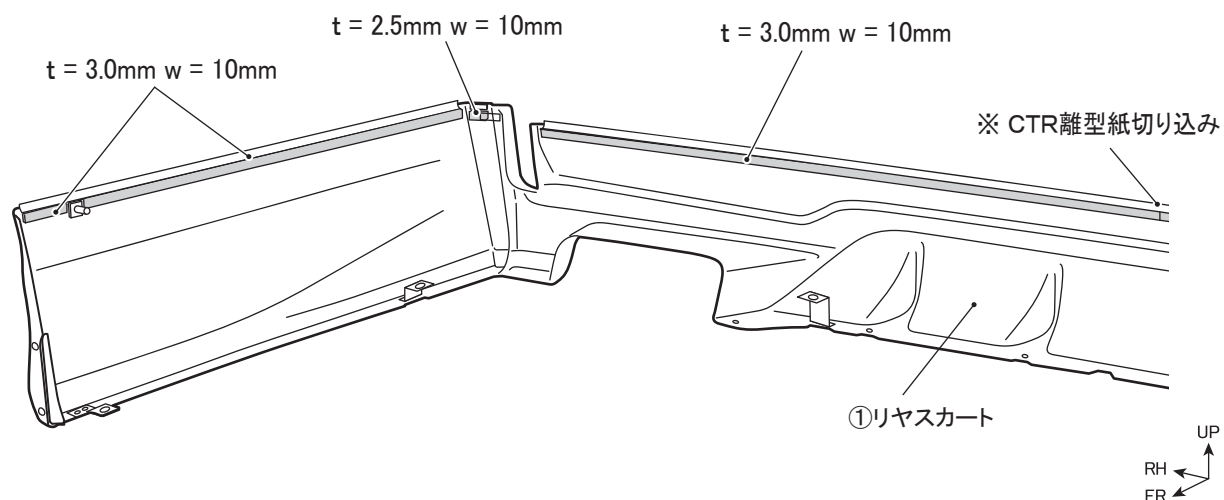
👉 アドバイス:

- モールの引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。絶対に引っ張りながら貼らないでください。
- モールは必ず奥まで差し込んでください。

■ 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①リヤスカートの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。
※ 両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PACプライマーK-500 相当）を塗布する。

図34 ※RH図示 左右共通作業



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

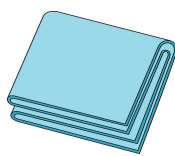


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



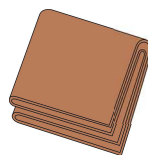
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



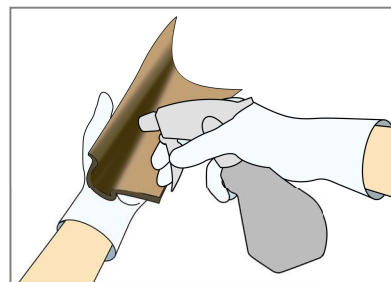
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

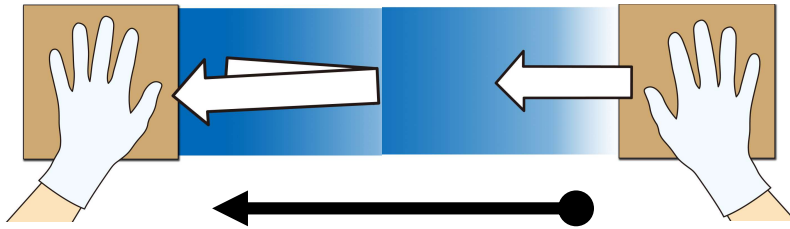
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 c m 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

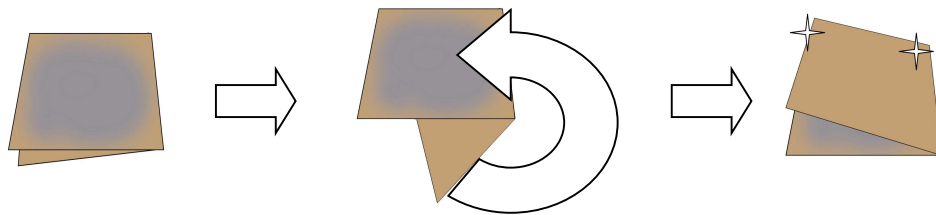
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。